

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公開番号】特開2012-191512(P2012-191512A)

【公開日】平成24年10月4日(2012.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2012-040

【出願番号】特願2011-54558(P2011-54558)

【国際特許分類】

H 04 N 19/50 (2014.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ピクチャを複数に分割するスライス毎に独立して行われる符号化において、動き情報について、処理対象である当該領域を、当該領域の周辺に位置する周辺領域とマージさせるマージモードを採用するか否かを、当該領域が属する当該スライスに属する周辺領域の情報に基づいて制御する符号化制御部と、

前記符号化制御部の制御に従って、マージモード若しくはそれ以外のモードで当該領域の符号化を行う符号化部と

を備える画像処理装置。

【請求項2】

前記符号化制御部は、当該スライスに属する周辺領域の少なくとも1つが動き情報を有する場合、前記マージモードを採用させる

請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記符号化制御部は、

当該スライスに属する周辺領域が有する動き情報の数を算出する算出部と、

前記算出部により算出された前記周辺領域が有する動き情報の数が0より大きいか否かを判定する判定部と、

前記判定部により前記周辺領域が有する動き情報の数が0より大きいと判定された場合、前記マージモードを採用させる制御部と

を備える請求項1または請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記算出部は、

各周辺領域が当該スライスに属するか否かを判定する位置判定部と、

前記位置判定部により当該スライスに属すると判定された周辺領域の予測のタイプを判定するタイプ判定部と、

前記タイプ判定部により前記周辺領域の予測のタイプが判定され、動き情報を有すると判定された場合、周辺領域が有する動き情報の数をカウントするパラメータの値を更新する更新部と

を備える請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

予測画像を生成する予測処理を前記スライス毎に独立して行う予測処理部をさらに備える

請求項 1 乃至 請求項 4 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記スライスは、前記符号化部による前記ピクチャに対する符号化処理のみを複数に分割するエントロピスライスである

請求項 1 乃至 請求項 4 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 7】

画像処理装置の画像処理方法であって、

符号化制御部が、ピクチャを複数に分割するスライス毎に独立して行われる符号化において、動き情報について、処理対象である当該領域を、当該領域の周辺に位置する周辺領域とマージさせるマージモードを採用するか否かを、当該領域が属する当該スライスに属する周辺領域の情報に基づいて制御し、

符号化部が、その制御に従って、マージモード若しくはそれ以外のモードで当該領域の符号化を行う

画像処理方法。

【請求項 8】

ピクチャを複数に分割するスライス毎に独立して行われる復号において、動き情報について、処理対象である当該領域を、当該領域の周辺に位置する周辺領域とマージさせるマージモードを採用するか否かを、当該領域が属する当該スライスに属する周辺領域の情報に基づいて制御する復号制御部と、

前記復号制御部の制御に従って、マージモード若しくはそれ以外のモードで当該領域の符号化を行う復号部と

を備える画像処理装置。

【請求項 9】

前記復号制御部は、当該スライスに属する周辺領域の少なくとも 1 つが動き情報を有する場合、前記マージモードを採用させる

請求項 8 に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

前記復号制御部は、

当該スライスに属する周辺領域が有する動き情報の数を算出する算出部と、

前記算出部により算出された前記周辺領域が有する動き情報の数が 0 より大きいか否かを判定する判定部と、

前記判定部により前記周辺領域が有する動き情報の数が 0 より大きいと判定された場合、前記マージモードを採用させる制御部と

を備える請求項 8 または請求項 9 に記載の画像処理装置。

【請求項 11】

前記算出部は、

各周辺領域が当該スライスに属するか否かを判定する位置判定部と、

前記位置判定部により当該スライスに属すると判定された周辺領域の予測のタイプを判定するタイプ判定部と、

前記タイプ判定部により前記周辺領域の予測のタイプが判定され、動き情報を有すると判定された場合、周辺領域が有する動き情報の数をカウントするパラメータの値を更新する更新部と

を備える請求項 10 に記載の画像処理装置。

【請求項 12】

予測画像を生成する予測処理を前記スライス毎に独立して行う予測処理部をさらに備える

請求項 8 乃至 請求項 11 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 1 3】

前記スライスは、前記復号部による前記ピクチャに対する復号処理のみを複数に分割するエントロピスライスである。

請求項 8 乃至 請求項 1 1 のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項 1 4】

画像処理装置の画像処理方法であって、

復号制御部が、ピクチャを複数に分割するスライス毎に独立して行われる復号において、動き情報について、処理対象である当該領域を、当該領域の周辺に位置する周辺領域とマージさせるマージモードを採用するか否かを、当該領域が属する当該スライスに属する周辺領域の情報に基づいて制御し、

復号部が、その制御に従って、マージモード若しくはそれ以外のモードで当該領域の復号を行う

画像処理方法。